

Sunhayato

ドライタイプ防錆処理剤

防錆シールド

(RSシリーズ)

技術資料

2014年01月06日発行

REV.1.00

SG13014



サンハヤト株式会社

本社 〒170-0005 東京都豊島区南大塚3-40-1
☎ 03-3984-7791 FAX. 03-3971-0535
<http://www.sunhayato.co.jp>

お願いとご注意

- ・ 本資料は、電子工作や電子回路、化学分野について一般的な知識をお持ちの方を対象にしています。
- ・ 本資料に掲載している内容は、お客様が用途に応じた適切な製品をご購入、ご使用していただくことを目的としています。その使用により当社及び第三者の知的財産権その他の権利に対する保証、または実施権の許諾を意味するものではありません。また、権利の侵害に関して当社は責任を負いません。
- ・ 記載されているデータは規格値ではありません。
- ・ 本品は、一般工業用途向けに開発されたものですので、医療用途・食品・化粧品など、安全面での配慮を必要とする用途へのご使用に際しては、貴社にて事前に当該用途での安全性をご試験、ご確認の上ご使用の可否をご判断ください。
- ・ 体内に埋植、注入する用途、または体内に一部が残留する恐れがある用途には、絶対に使用しないでください。
- ・ 本資料の一部、又は全部を当社の承諾なしで、いかなる形でも転載または複製されることは堅くお断りします。
- ・ 全ての情報は本資料発行時点のものであり、当社は予告なしに本資料に記載した内容を変更することがあります。
- ・ 本資料の内容は慎重に制作しておりますが、万一記述誤りによってお客様に損害が生じても当社はその責任を負いません。
- ・ 本資料に関してのお問い合わせ、その他お気づきの点がございましたら、当社までお問い合わせください。
- ・ 本資料に関する最新情報はサンハヤト株式会社ホームページ (<http://www.sunhayato.co.jp/>) に掲載しております。

目次

1	はじめに	3
1.1	概要	3
1.2	特長	3
2	特性データ	4
2.1	性状	4
2.2	樹脂影響性	4
2.3	接点保護効果	5
2.3.1	湿潤試験	5
2.3.2	簡易硫化試験	5
3	被膜形成のメカニズム	6
4	使用方法	7
5	取扱い及び保管方法の注意	7
5.1	取扱い上の注意	7
5.2	保管方法の注意	7

1 はじめに

1.1 概要

本製品は、金属表面を酸化・硫化から守るドライタイプの防錆処理剤です。

処理後はベタツキのない乾性被膜が金属表面を酸化・硫化から守ります。

処理被膜は接触抵抗に悪影響を与えず、電気接点や電子部品などの酸化による動作不良や接触不良対策に効果があります。

オイル型に懸念されるスパークによる接点障害の心配がなく、リレー接点にも使用できます。

感光基板のエッチング後の銅箔面や接点ブライトの洗浄後の接点部分の変色防止に効果があります。

1.2 特長

優れた防錆効果

鉄鋼、非鉄金属に対して優れた防錆効果を有しています。

NP系列の軽質防錆油に匹敵する耐湿潤性を有しています。

ドライタイプ

ドライタイプなので処理後に防錆油や防錆潤滑剤のようなベタツキによる埃の寄せ付けや他に転移付着するような不具合が起こる心配がありません。

人体や環境に優しい

PRTR法、有機溶剤中毒予防規則に該当するような成分を含有していないので、安心して使用できます。

樹脂影響性

主溶剤はエタノールですので、ほとんどの素材を侵しません。

2 特性データ

2.1 性状

項目	性能
成分	防錆添加剤、アルコール、炭化水素
外観	薄黄色透明液体
比重	0.79
引火点	14

2.2 樹脂影響性

試験ビンに本製品を50ml取り、各樹脂片を室温で1ヶ月浸漬後、樹脂片の外観と質量変化を観察した。(N数=3)

樹脂の種類	クラック	変色
アクリル樹脂	なし	なし
ABS樹脂	なし	なし
ポリカーボネート樹脂	なし	なし
ポリスチレン樹脂	なし	なし
ポリエチレン樹脂	なし	なし
PET樹脂	なし	なし
エポキシ樹脂	なし	なし

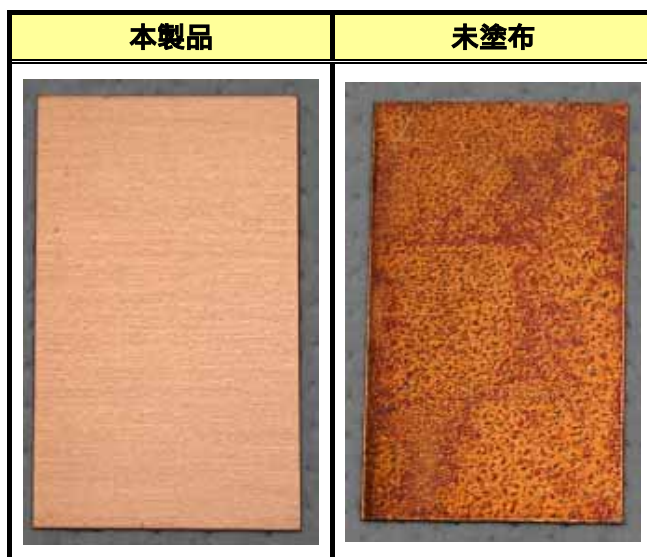
2.3 接点保護効果

2.3.1 湿潤試験

保存条件 : 50℃、95%、240時間

処理方法 : ハケで塗布し30秒放置後にエタノールで洗浄。

塗布試験片 : 銅板

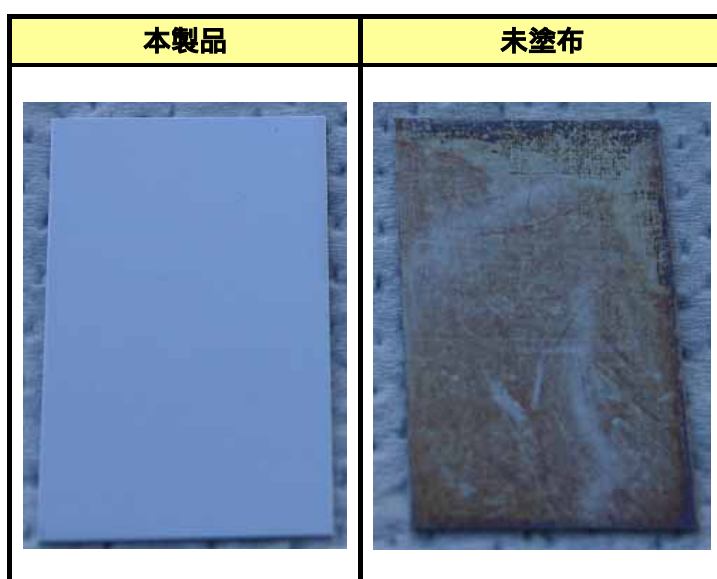


2.3.2 硫化試験（試験片を硫化雰囲気中の密閉された試験ビンに入れる。）

保存条件 : 室温、2時間

塗布方法 : ハケで塗布し30秒放置後にエタノールで洗浄。

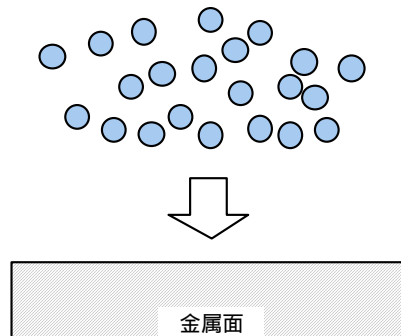
塗布試験片 : 銀板 SV950



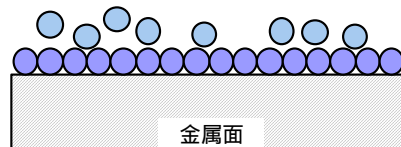
3 被膜形成のメカニズム

本液が金属面に接触すると、有効成分が金属表面に吸着し、強固な吸着層が形成されます。この吸着層が保護膜となり、防錆効果を発揮します。

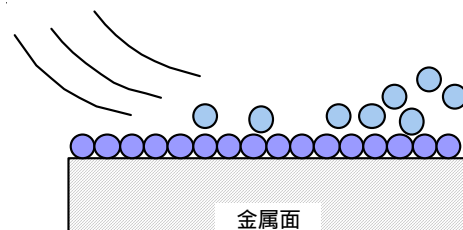
本液が金属表面に接触すると



有効成分が金属表面に強力に吸着し、強固な吸着層を形成する。



残余液を洗い流せば、



吸着層が保護膜となり、防錆効果を発揮する。



- 4 使用方法
- 5 取扱い及び保管方法の注意

4 使用方法

処理対象物が汚れている場合は、汚れの種類に応じてニューリレークリーナーや接点ブライトで金属表面を洗浄して下さい。

ハケ付容器は付属のハケで処理表面に満遍なく塗布して下さい。原液タイプは浸漬またはハケ塗りにて処理を行って下さい。

30秒～1分程度放置後、ニューリレークリーナーにて処理表面を洗い流して下さい。

5 取扱い及び保管方法の注意

5.1 取扱い上の注意

引火性液体ですので、熱、火花、裸火、高温のような着火源から遠ざけて下さい。作業中は、充分換気に行なって下さい。

蒸気を吸入したり、眼や皮膚に接触したりしないように充分注意して下さい。

眼や皮膚に付着した場合、炎症をおこす恐れがありますので、使用する時は必要に応じて保護具を着用して下さい。

素材の性質や経時劣化により、一部のプラスチック・塗装・ゴム・印刷面などは、破損や変質する恐れがありますので注意して下さい。

他の物質と混ぜないで下さい。

用途以外には使用しないで下さい。

人体や動植物には使用しないで下さい。

ご使用に際しては、取扱い説明書、製品安全データシートを熟読の上、お取り扱いくださるようお願いいたします。MSDSはサンハヤト株式会社ホームページ (<http://www.sunhayato.co.jp/>) からダウンロードできます。

5.2 保管方法の注意

ご使用後は容器を密閉し、換気の良い冷暗所に保管して下さい。

残余廃棄物は、専門の産業廃棄物処理業者に委託するなどして処理して下さい。

**防錆シールド RS シリーズ
技術資料**

発行日 2014 年 01 月 06 日 **Rev1.00**

発行 サンハヤト株式会社 化学製品開発部

住所 〒174-0056 東京都板橋区志村 3 丁目 31 番 20 号

©2014 Sunhayato Corp. All rights reserved. Printed in Japan.

SG13014
